

うた ひつじの詩だより

2006.12.1
毎月発行 No.69
この便りにご注文の品と
いっしょにお届けします

冬至を境に闇から光へと向かうこの季節。古代の人々は冬至を「死に最も近い日」として恐れたそうです。キリストの生誕がこの時期と定められたのも、必然だったのでしょうか。

クリスマスのおしゃべり

土台の指人形の型は、白樺でできています。チューブジャージと髪の毛をボンドで貼り付けるだけ！とても簡単に出上がりします。赤、グレー、白のカラーと織りテープで、すっかりスウェーデン風の仕上がりになりました！（クリスマスのおしゃべりのキット 3体分で1,350円）



2007年度新規募集のお知らせ

- ・大人のための人形作りと手仕事 **一第3日曜日のワークショップ** 於：佐々木アトリエ
07年1月からスタートできます。遠くの方にはお近くの講師をご紹介します。また、講師が近くにいない場合は、通信でお手伝いする制度もあります。併せてお問い合わせください。
- ・子ども(年長～5年生)のためのお話とものづくり **一土曜日の「ペレのこひつじ」** -
4月からの第3期、新規募集については1月に入ってからお問い合わせください。
- ・羊毛の手仕事の通信講座 **一「ペレの学校」4期一**
4期目は6月からのスタートですが、受講をご希望の方は、お早めにお申し越しください。

以上についての案内を希望される方は、郵便番号、ご住所、お名前、電話番号、お子さんの年齢(こひつじのみ)をご記入の上、下記あて先までなるべくFAXか郵送でお寄せください。折り返し、詳しい内容をお知らせいたします。

〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘15-2 TEL&FAX 045-881-6900

クリスマスセールのお知らせ

12月23日(土)までの毎週木、金、土曜日、「スペース ペレのあたらしいふく」ではクリスマスセールを行っています。期間中ご来店の方にはお買い上げ金額の5%を割り引きいたします。また、毎週土曜日にはストロー(わら)細工のワークショップを行います。ストローで作る天使やオーナメントは、窓辺やクリスマスツリーに吊ると光に映えて、新鮮な美しさです。

スウェーデンひつじの詩舎では、この他にもクリスマス限定の商品を取り揃えて皆様のお越しをお待ちしています。どうぞ「スペース ペレのあたらしいふく」へお運びください。

雑誌「リンカラン」(12月15日発行)に、スウェーデンひつじの詩舎の記事が掲載されます。ぜひ、ご覧ください。

“親から子へ気持ちを込めて贈る手作り”をテーマに、ミュージシャンであり、10か月の男の子のママであるBirdさんが、佐々木奈々子の案内でぬいぐるみの“スキップうさぎのハンブスくん”を作りました。出来上がったばかりのうさぎをぼうやに手渡すと、お気に入りのタオルを手放して、うさぎの耳を持ち、オーガニックコットンの感触を口もとへ……。そして、ママにニコッと笑顔を見せました。その瞬間は、そこに居合わせた大人たち、すべてにとって、至福の一瞬でした。

ぱたぼんの仕事展 ウォルドルフ人形 ～遊びの風景～ スウェーデンひつじの詩舎講師 “ぱたぼん” の作品展

- 12月5日(火)～10日(日) 神奈川県民ホールギャラリー 第4展示室
横浜市中区山下町3-1 担当 佐藤隆子・他
- 12月5日(火)～10日(日) TETOTETO 東京都江東区東陽3-26-10
TEL:03-3645-1484 担当：高橋恵美子、當間吉美、辻真理
- 1月26日(金)～29日(月) つみきや 福岡市南区西長住2-29-20
TEL:092-512-6095 担当：原田保子
- 2月8日(木)～13日(火) アートスペース201 札幌市中央区南2西1-7-8 山口中央ビル8F
TEL:011-251-1418 担当：長内洋子・村本泰江
- 2月19日(月)～21日(水) ルヴィーブル 福山市西桜町1-5-17
TEL:0849-25-3587 担当 安田いず実
- 2月25日(日)～26日(月) Anty 北九州市小倉北区清水3-2-18
TEL:093-963-8033 担当 岩淵志温

ミニチュアの快樂 田尻真理子(東京純心女子大学 助教授)

毎年この時期になると欧米では「馬小屋」を飾ります。

「馬小屋」は、キリスト降誕の情景を再現した模型で、飼葉桶にねかされた幼子キリストを中心として、聖母マリア、聖ヨゼフを始め、キリストの誕生を最初に祝いにやってきた羊飼いたちや、不思議な星に導かれてはるばる訪ねてきた東方三博士、それに驢馬や羊、牛などの動物たちが置かれます。聖堂の内外におかれるほぼ等身大の大規模なものから掌にのるほどの小さなものまで大きさはさまざまですが、クリスマスを迎える喜びと相俟って、見る人を和やかな気持ちにさせるものです。

さて「馬小屋」に限らず、生活の情景を再現した模型、たとえばドールハウスなどもまたなんともいえぬほのぼのとした情感や言いしれぬ楽しさを味わわせてくれます。フランス人形がファッションの国フランスの服飾を具体的に伝える媒体として作られ始めたように、家具作り職人がブルジョワ顧客の子弟のために作ったのがその端緒とも言われていますが、有名なのはイギリスのメアリー王女のために作られた十二分の一のドールハウスでしょう。

こうしたミニチュアに対して私たちがもつ好奇心や快感の源泉はどこにあるのでしょうか。フランスの文化人類学者、レヴィ・ストロースは、これが「縮減模型」であることに由来すると説きます。私たちは世界の全体を把握することはできませんが、ひとたび「縮減」されれば一望のもとにこれを見渡すことができます。つまり、ほんらい捉えることができないもの、たとえば「家」や「生活空間」の全貌を、文字通り「手に入れ」て把握することができるという知識欲や所有欲(ちなみにフランス語 savoir=「知る」の中には avoir=「持つ」が含まれています)の満足にミニチュアの快樂は由来するというわけです。

さて、その楽しみの源泉がいずこにあるにせよ、ミニチュアの降誕シーンに出来る季節が再び巡ってきたことを喜びとともに感謝したく思います。

※写真は、東京純心女子学園の馬小屋：滝山街道に面して飾られた馬小屋は12月に入るとライトアップされます

編集担当：佐藤治子

スウェーデンひつじの詩舎のホームページ
検索キーワードは「s-hitsuji」と「詩舎」

<http://www.s-hitsuji.co.jp/>

♥スウェーデンひつじの詩舎♥
スペース ペレのあたらしいふく
〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘15-2
TEL/FAX 045-881-6900,6665
佐々木のアトリエ TEL/FAX 045-811-6708
相談窓口/金担当：寺田裕子045-881-7035